

もんだい2

【1】つぎの文を よんで こたえまし

よう。

いきなり、かぜが、みんなを空へ ぶ

きとばしました。

そして、あっと いう まに、せんせ

いと 子どもたちは、手を つないだ

まま、くもの くじらに のっていま

した。

「さあ、およぐぞ。」

くじらは、青い 青い 空の なか

を、げん気いっばい すすんで いき

ました。

うみの ほうへ、むらの ほうへ、ま

ちの ほうへ。

みんなは、うたを うたいました。

空は、どこまでも どこまでも つづ

きます。

① なにが、みんなを 空へ ぶきとば

しましたか。

( ) ( )

② みんなは、あっと いう まに、なに

に のって いましたか。

( ) ( )

③ 「さあ、およぐぞ。」と いったのは、

だれですか。

( ) ( )

④ うたを うたって いる とき、

みんなは どんな きもちでしたか。

(1つに ○を つけましょう。)

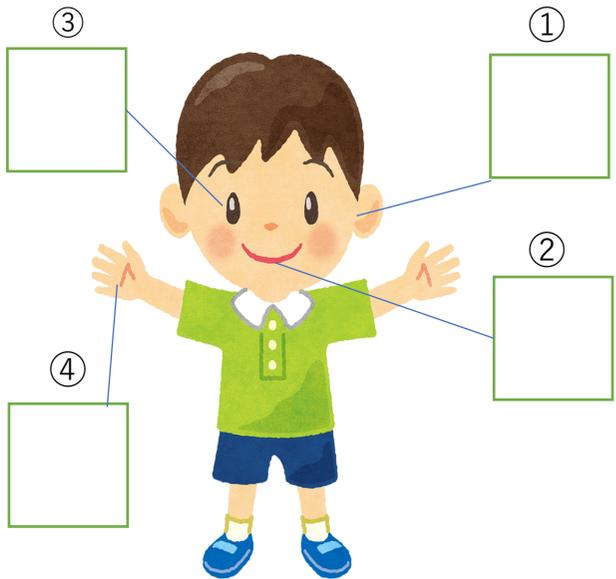
( ) ( ) なんだか こわいなあ。

( ) ( ) はやく かえりたいなあ。

( ) ( ) とても たのしいなあ。

【2】 かん字と ことばのもんだい

○ からだの ぶぶんの 名まえを  
あらわす かん字を □に かきまし  
よう。



○ かん字を つかって はんたいの  
ことばを かきましよう。

① 大きい  

② 上  

③ 右  

○ □に かん字を かきましよう。

①  おんな  
と  
 おとこ

②  がっ  
 こう  
く  
いく。

③  か  
よう  
 び

【1】つぎの文を 読んで 答えましょう。

春になると、たんぽぽの黄色いきれいな花がさきます。

二、三日たつと、その花はしぼんで、だんだんくろっぽい色にかわっていきま  
す。そうして、たんぽぽの花のじくは、ぐ  
つたりとじめんにたおれてしまいます。  
けれども、たんぽぽは、かれてしまった  
ではありません。花とじくをしずかに  
休ませて、たねに、たくさんのえいよう  
をおくっているのです。こうして、たんぽ  
ぽは、たねをどんどん太らせるのです。  
やがて、花はすっかりかれて、そのあと  
に、白いわた毛ができてきます。

① たんぽぽは、いつ、何色の花が咲きま  
すか。

いつ ) )

何色 ) )

② 花のじくがたおれてしまうのは、何を  
するためですか。

花とじくをしずかに ) )

て、たねに、 ) )

をおくり、たねを ) )

ため。

③ たんぽぽが かわって いく じゅん番  
を、 ) ) に 書きましょう。

) ) (花が さく。

) ) (花が すっかり かれる。

) ) (わた毛が できる。

) ) (花が しぼんで、じくが  
たおれる。

【2】 かん字のもんだい

○ ( ) にかん字を書きましよう。

こう えん

① ( ) ( ) ( ) にいく。

げん き

② ( ) ( ) ( ) な子ども。

らい しゅう

③ ( ) ( ) ( ) のテスト。

じ ぶん

④ ( ) ( ) ( ) の本。

か み

⑤ ( ) ( ) ( ) をおる。

○ ー のことばを、かん字とおくりがなで

書きましよう。

① 毎日がたのしい。

( ) ( ) ( )

② 車がとまる。

( ) ( )

③ 夜があける。

( ) ( )

なかまのかん字を書きましよう。

あね おや

兄 ( ) ( ) ( ) ( )

いと

( ) ( ) ( )

【3】 ことばのもんだい

○ 絵にあう文になるように ( ) ( ) ( ) にあう

ことばを、あとの□の中からえらんで、

書きましよう。

①



くもが ( )

( ) とながれる。



風がはっぱを（ ）。

ころころ ・ ふわふわ ・ ちらす ・  
しほむ

○  のかん字をりょうほうつかっ

て、えにあう文をつくりましょう。



子 ・ 休

